

CSW67報告会

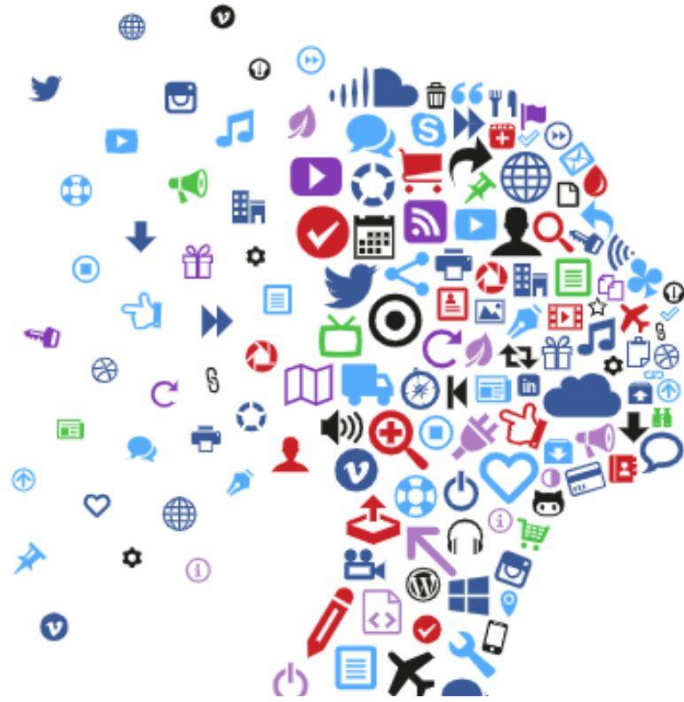
NGO主催 パラレル・イベントの報告

石川美幸 (JAWW役員)

開催報告資料をHPに掲載した主催団体

- 3月7日 公益財団法人 日本YWCA
 - 3月7日 Asia Pacific Women's Watch / Southeast Asia Women's Watch (開催資料のみ)
 - 3月8日 PDC PPSEAWA International
 - 3月9日 日本BPW連合会
 - 3月9日 日仏女性の人権架け橋 ミモザ実行委員会
 - 3月11日 国際女性の地位協会
 - 3月12日 Japan Brand Communication
 - 3月16日 明治大学情報コミュニケーション学部 堀口ゼミ
- ▶ CSW67開催期間全日程 国立女性教育会館

3月7日 公益財団法人 日本YWCA



© Slidesgo and Freepik
(<https://slidesgo.com/faqs> and <https://slidesgo.com/slidesgo-school>)

SOCIAL MEDIA AND SEXUAL EXPLOITATION: YOUNG WOMEN'S PERSPECTIVES FROM JAPAN

CSW67: YWCA of Japan Parallel Event

6TH MARCH 16:30PM EST (NEW YORK
TIMEZONE)

UTC: 6TH MARCH 21:30PM

JST: 7TH MARCH 6:30AM

VENUE:

- SALVATION ARMY LOWER LEVEL, NY
- ONLINE



REGISTER HERE

マスメディアの中での女性の取り上げられ方やCOVID-19下でひどくなったオンラインを使用した子どもの性的搾取などを取り上げ、日本や世界の現状をどう変えていったらよいかをいっしょに考えるイベントです。

- 日本YWCAからはNYヘユース4名、職員2名を派遣。パラレルイベントにはNYのメンバーとユース1名、職員2名がオンラインで参加しました。
- 対面とオンラインのハイブリッドで行いました。
- イベントは現地では英語で行ない、オンラインに限って日本語のみ通訳が付けました。

実施報告

- ・ **参加者の人数** 約 100 名（対面約40名、オンライン約60名）

- ・ **イベント実施の感想**

- 【成果】

- ・ 4年ぶりにユースを現地に派遣し、若い女性にエンパワメントの機会・経験を与えることが出来た。
 - ・ 現地で、YWCA内外とのつながりを構築できた。
 - ・ プレスの方々に取り上げてもらう機会を得、日本YWCAとユースが行っている活動を対外的にアピールできた。
 - ・ 多くの方に参加いただき、一緒にアクションプランを考えることが出来た。

- 【課題】

- ・ ハイブリッド方式での開催と、さまざまなアプリケーションで対面とオンラインの垣根をなくそうと試みたが、あまりうまくいかなかった。回線トラブルなどはなく、オンラインの方にもスムーズに届けられたが、会場設備（機材）に少し問題があった。
 - ・ 会場の準備に与えられた時間が15分しかなかった。その中でハイブリッドの準備を行うのは難しかった。

- ・ **CSW68でのパラレルイベント等の実施予定、抱負など**

- ・ 引き続きユース会員を派遣する予定。

- ・ **その他**

CSW67の報告は、日本YWCAウェブサイトでもご覧いただけます。 <https://www.ywca.or.jp/kaze/ccsw67report/>

**3月7日 Asia Pacific Women's Watch
/ Southeast Asia Women's Watch**

(開催資料のみ)



NGO CSW 67 FORUM

EDUCATION, INNOVATION, AND TECHNOLOGICAL CHANGE: USING THE COVID-19 DIGITAL AGE FOR EMPOWERMENT

The panel will focus on the innovation and digital knowledge that was empowering for women and girls emerging from women's groups in the Asia-Pacific region as well as, emerging challenges of increased digital use that may affect women and girls negatively.

Recognise, Reduce, Redistribute Unpaid Care Work



Velayudan Jayachithra

Women and Media Collective
Sri Lanka

Innovating Technology During the Pandemic



Melanie Reyes

Women and Gender Institute (WAGI)
Philippines

Pacific Young Women and Girls' Digital Reality



Emeli Anise

Fiji Women's Rights Movement
Fiji

Moderator



Luz Maria Martinez

Member,
Asia Pacific Women's Watch (APWW)
Steering Committee
and Southeast Asia Women's Watch (SEAWWatch)

EDUCATION, INNOVATION, AND, TECHNOLOGICAL CHANGE: USING THE COVID-19 DIGITAL AGE FOR EMPOWERMENT

主催 : Asia Pacific Women's Watch /
Southeast Asia Women's Watch

開催日時 : 2023.3.7

1:00-2:30AM EST

3:00-4:30PM JST

開催方式 : ZOOMによるWEB開催



07 March 2023



1:00-2:30 AM EST
11:30-1:00 PM Sri Lanka
2:00-3:30 PM Manila
6:00-7:30 PM Fiji
3:00-4:30 PM Japan



Zoom
Meeting ID:
915 9295 2384
Passcode: CSW67

3月8日 PDC PPSEAWA International

Virtual NGO CSW67 Parallel Event

主催団体名：PDC PPSEAWA International, Soroptimist International etc.

イベントタイトル:Technology-Facilitated VAWG (Violence Against Women and Girls):How CSOs Enhance Their Influence on Binding Treaty

開催日時: March 7 21:00-22:30 (EST),March 8 10:00-11:30 (JST)

パネリスト（日本）：藤川真理子（**日本パシイワ**、日本BPW、大学女性協会）

他のパネリストの参加国：台湾、フィリピン、タイ、

発表演題名：

Progress of legislation to protect women and girls from stalking / violence by SNS use, and advocacy actions against VAWG by CSOs in Japan

発表要旨：日本における女性に関連する法整備の推移、桶川ストーカー殺人事件、近年のソーシャルメディアユーザーの増加、デジタル暴力の増加、木村花さんの自殺について紹介。これらの事件を受けて警視庁、文科省、厚労省と連携して内閣府男女共同参画局では第5次男女共同参画基本計画等においてDV対策、デジタル暴力対策に取り組んでいることを説明した。

日本パシイワも属している国際婦人年連絡会によるロビー活動、日本パシイワのユースによるUHC活動への取り組みを紹介し、日本のジェンダー平等に関わるCSOによるデジタル暴力に対する政策提言や法整備への寄与と今後の活動の展望について言及した。

パラレルイベントの報告

- ・参加者の人数： オンライン 250名、
対面 50名
- ・参加者の国：台湾、日本、マレーシア、シンガポール、タイ、フィリピン、
インドネシア、香港、米国、カナダ、ハワイ、オーストラリア、
ニュージーランド
- ・イベント参加の感想：
参加国のデジタル暴力等への取り組みを知ることができた。
日本の取り組みについては省庁の連携を強化する必要性、子供への啓発の
工夫不足を感じた。

3月9日 日本BPW連合会

CSW67 Virtual Parallel Event
日本BPW連合会

How to make actions for gender mainstreaming in entrepreneurship

ジェンダーの主流化の概念は約30年前の1995年に北京行動綱領に登場したものである。しかし、少なくとも日本において、多くの組織や政府機関においてこの戦略を実践することは困難があった。本イベントではこの戦略をどのように実践に活かしていくかを日本における起業と起業支援を例に示しつつ、少人数のディスカッション形式で参加者の経験や見解、各国の実態に関する情報交換の場を提供する。

<ゲストスピーカー>
社会起業家
菊池モアナ氏

日 時：2023年3月9日(木)
8:00～9:30 (EST)
22:00～23:30 (JST)
開催形態：Zoomミーティング
(NYから配信)

使用言語：英語

<申込はこちら>



<https://bpw-de20230309.peatix.com/>

実施報告

- 参加者の人数 42名
- 参加は 4カ国から
 - * 4カ国のうち2国は参加者の感想からカウント
- イベント実施の感想

CSWの平行イベントを主催するという事で、プレッシャーも大きかったが、参加者の方それぞれの体験や思いに即して内容を理解して下さったり、議論して下さったりして、主催者側にとっても参加者の方々にとっても意義深い時間になったかと思う。ゲストスピーカーの菊池モアナ氏のお話も興味深く、参加者からもっと聞きたかったなど好評であった。大事なテーマではありながらも、抽象的なテーマで、どう提示してどう話し合ってもらおうか悩んだ部分もあったが、結果的には実り多いイベントとなった。その結果、「ジェンダー主流化」と「起業」という観点が新鮮で良かったという声もあり、このテーマで協議を重ね準備してきて良かったと思えた。ニューヨークの滞在先からの配信であったため、回線トラブル等もあったが、しっかりとしたバックアップのおかげで滞りなく開催することができた。ここで得た反省点やそれに対する解決策を次回に活かすことができればと思う。

**3月9日 日仏女性の人権架け橋
ミモザ実行委員会**

2023年3月9日(木)21:00 〈日本時間〉

内容 日本の**100**年の女性史を伝えるコメディ演劇 ミモザウェイズについて

主催：日仏女性の人権架け橋 ミモザ実行委員会

ウェブサイト：<https://woman-engeki.com/>

連絡先：mimoza.japan@gmail.com ☎050-3595-2200



 **NGO CSW67 Forum**

Thursday March 09, 2023 / 07:00 AM - 09:00 AM

“ *A theatre comedy MIMOZA WAYS on women history in Japan* ”

 **Namino
HORII
RIVOAL**

Powered by Whova

MIMOZA WAYS 1910
2020

ミモザウェイズ——わたしたちの道 脚本・演出 TRINIDAD

明治末期、大正の青鞥の時代から21世紀。
女性たちが歩んできた100年あまりの道を、3人の現代女性たちが今、たどる。
ミモザ実行委員との3年の準備期間を経て、フランス人劇作家
トリニダード・ガルシアによる、ユーモア溢れるオリジナルの書き下ろし！

TOKYO 2023 2/22 Wed・23 Thu 福岡 2/27 Mon・28 Tue
東京 福生市民会館 つつじホール 福岡 クローバープラザ・クローバーホール

ジェンダー平等 × 演劇



実施報告

- 参加者の人数 5名 (ミモザウェイズから2名で、参加者は3名でした。)
- 参加は 2~3 カ国から

イベント実施の感想

- よかった点：2名の方は日本で普段から女性の人権について活動をされている方で、別の場所でお名前を知っているけれど、直接お話しするのは初めてという方々でした。演劇公演「ミモザウェイズ」の報告、現在も継続しているオンデマンド映像配信などの企画をお伝えするだけではなく、お互いの活動について対話ができ、次に繋がりました。実行委員会より2名が参加して、日本語と英語で対応しました。
- 悪かった点：申し込み者は約20名いましたが、実際の参加者は3名で残念でした。内1名は途中から参加、約5分ほどで退席されました。

CSW68でのパラレルイベント等の実施予定、抱負など

- 先日NGOCSW主催のフィードバック会に参加をしました。参加者5名でよかったと言われました。実際に1名という方もよくあるケースのようでした。来年もジェンダー平等社会の実現という同じ目標を持つ人々と出会うために参加予定ですが、2021年にスティール若希さんと共催で企画したように、一つでも多くのグループと協力して、多様な人が関われる会の企画ができればと願っています。準備に時間がかかるかもしれませんが、より多くの方と対話できるきっかけにできると思いました。

その他 NGOCSWでイベントを3回主催しました。オンラインプラットフォームが、日本語がないので難しいですが、より使いやすくなってきていると実感しています。個人的に、CSWの各国の結果についても注目して、オンラインで参加できる会議にも、積極的に参加をしていきたいと思えます。

IS DIVERSITY AND DEI MAINSTREAMING THE KEY TO FREEDOM ?

CSW オンラインイベント3月21日(日) - 今すぐ登録!
21:00-22:30(日本時間) / 07:00-08:30(NY時間) 日英同時通訳あり
(CSW : NGO 国連婦人の地位委員会, NY フォーラム)
[HTTPS://NGOCSW.ORG](https://ngocsw.org)

モデレーター
スティール 若希 (NY)
リポアル なみの (NYTO, JAPAN)

パネリスト
薄井 シンシア (JAPAN)
ステファン ヴォワイエ (CANADA)
山本 和奈 (JAPAN/BRCEL)
松尾ポストしゅう (JAPAN/US)
トリニダード ガルシア (FRANCE)

3月11日 国際女性の地位協会

国際女性の地位協会 パラレルイベント

3月11日(土)
午後3時～5時

NGO CSW67 Forum Parallel Event

Youth Workshop : CEDAW Convention, Education and Gender in Digital Age

Zoom meeting / English only
Meeting ID: 815 9743 1951 Pass : 528844

11 MAR
2023

1:00-3:00AM EST
3:00-5:00PM JST

Organized by JAIWR [▶ https://www.jaiwr.com/english](https://www.jaiwr.com/english)

The Japanese Association of International Women's Rights (JAIWR) is an NGO aiming to promote and protect women's human rights based on the Convention on the Elimination of All Forms of Discrimination against Women.

1. Introduction:
CEDAW Convention and its General Recommendation No.36
HORIUCHI Mitsuko
2. My Valuable Experiences in Study Abroad:
How Gender Biased the Real World is!
TAGUCHI Minao
3. Toward Gender Equality in STEAM Education:
Some Efforts by Women's Universities in Japan and Korea
YAMAJI Miku
4. Gender Bias in Medical Workplaces:
Difficulties to Secure Work-Life Balance
AOKI Yuna
5. Online Training on Gender Mainstreaming Training
for Government Officers in Developing Countries
UENO Mayuko



NGO CSW67 フォーラム オンラインパラレルイベント

ユースワークショップ: デジタル時代における 女性差別撤廃条約、教育とジェンダー

Zoom ミーティング / 英語のみ

2023年 11日
3月
日本時間 午後3時-5時
NY時間 午前1時-3時

主催 国際女性の地位協会

国際女性の地位協会(JAIWR)は、女性差別撤廃条約の研究・普及を通じて女性の地位向上を図る国連NGOです。1987年に設立され、四半世紀を超えて活動しています。

▶ <https://www.jaiwr.com>

1. イントロダクション:
女性差別撤廃条約と一般勧告第36号
堀内光子
2. 私の世界観を変えてくれた留学経験
田口実尚
3. STEAM教育におけるジェンダー不平等の克服:
日本と韓国的女子大学の取り組み
山道未来
4. 医療現場におけるジェンダーバイアスと
医療者のワーク・ライフバランス
青木優奈
5. 途上国の行政官を対象とした
ジェンダー主流化研修のオンライン研修
上野真由子



実施報告

- **参加者の人数** 約50名
- **参加は** 5カ国から
- **イベント実施の感想**

女性差別撤廃条約の条文や、一般勧告第36号(女児及び女性の教育を受ける権利)を引用しながら、高校生、大学生、医学生、社会人の若者がそれぞれの経験を語ったことで、ジェンダーの課題について参加者の関心を高め、大学の取り組み、STEAM教育、医療現場におけるジェンダーバイアスや医療従事者のワークライフバランス、ジェンダー主流化などの問題意識を共有することができた。

参加者とのQ&Aでは、各発表内容に関してアンコンシャスバイアスの問題について活発な意見交換が行われ、有意義なイベントとなった。

- **CSW68でのパラレルイベント等の実施予定、抱負など**

CSW68の優先テーマを念頭に、若者を中心にNGOCSW参加を検討する。

3月12日 Japan Brand Communication

CSW67 Parallel virtual event



主催団体：Japan Brand Communication

イベントタイトル：

**21Century Authentic Leadership education in the digital age
- Considering from the distinguished women leaders; Ms. Umeko Tsuda,
Madame Sadako Ogata**

開催日時：3月12日（日）10:00am-11:00am(日本時間)

March 11（Sat.）8:00pm-9:00pm(EST)

Zoom webinar/ 使用言語は英語です。Language: English

Register 登録： <https://forms.gle/uWQCAyY7mWssHLWw6>

登録頂いた方々に、後日開催前にメールからZoomリンクのご連絡をいたします。

- Keywords of the topics: SDGs, Women & Digital Leadership
- Host: Emi Shitara, President, Japan Brand Communication
- Guest Speaker: Ms. Estefanía Palomino, LL.M

The Director of the Aspen Global Innovators Group at the Aspen Institute

The one of the “10 Young Leaders Who Are Creating A Better World” selected by Johnson & Johnson and the Huffington Post in 2015.

津田梅子氏、緒方貞子氏のエピソードなども振り返りながら、

21世紀のLeadership教育を考える機会です。ニューヨークのゲストスピーカーをお招きしています。

*CSWは2022年にサイドイベントやパラレルイベントにオンラインで参加、

今年はオンラインパラレルイベント主催に初挑戦します。

運営へ応援メッセージやご寄付など、大変有難く歓迎しております。

ご連絡： emi.shitara@japanbrandcommunication.com



ホスト：
設楽恵美

-Member of the Jury Committee of the Global Media & Information Literacy Awards 2021 for UNESCO

-津田塾大学学芸学部国際関係学科卒

-お茶の水女子大学

女性リーダー育成塾：徽音塾塾生

-国際文化会館 新渡戸国際塾修了

-Harvard Business School Online Sustainable Business Strategy course修了

-HBS OnlineグローバルコンペティションCommunity Challenge2021にてTokyo Chapter多国籍オンラインプロジェクトチームを優勝に導く。

-国連ITU Girls in ICT Day 2022

ハイブリッドイベントなど、

国際イベントでのスピーカー

-SDGsグローバル提言活動などにも貢献。

-2021-2022米国大使館・

テキサス大学オースティン校

グローバルイノベーションラボの

Advancing Women and Youth

Entrepreneurshipプログラムに参加。

<https://www.linkedin.com/in/emi-shitara/>

ゲストスピーカー：

Ms. Estefanía Palomino, LL.M
Estefania is the Director of the Aspen Global Innovators Group at the Aspen Institute. She joined the Aspen Institute in June 2022, where she works on a portfolio of programs to dismantle global health disparities globally and domestically. During her career in philanthropy, she served as a Program Manager at The Wyss Foundation and as a Program Officer at the Helmsley Charitable Trust, managing multimillion-dollar portfolios, developing and implementing social justice, women's rights, and global health strategies, and actively engaging with partners in Central Asia, Europe, Latin America, Sub-Saharan Africa, and the United States. Her thought leadership has been featured in the Huffington Post, World Economic Forum blog, Health Affairs Blog, and the Atlantic Live. Estefanía served as an Executive Editor for Georgetown's Food and Drug Law Journal and throughout her career has authored multiple peer-reviewed papers and opinion pieces.



実施報告

【イベント実施の感想】

これまでCSWにオンラインで様々な国際サイドイベントやパラレルイベントに参加し、2023年本年初めて、CSWにてパラレルイベントの国際ウェビナーを英語で主催致しました。ChatGPTなどのデジタル新技術に右往左往せず、本質的かつ現代にも活かせるDigital Leadership教育を考える機会を提供致しました。特別ゲストスピーカーに、ニューヨーク在住で今後の活躍も期待できる女性リーダーのお一人をお招き致しました。開催に当たり、温かいご協力、ご支援を頂きました多くの皆様方に、心から感謝申し上げます。

今後の活動の発展ですが、国連ITUのパートナーとして、昨年から“Girls in ICT Day”に協力し、本年CSWで発表した内容の一部を活かし、5月23日にタイなどの大学生や高校生に向けてオンラインでLeadership Skillsをテーマにした講義とワークショップを実施予定です。
https://girlsiniict-asiapacific.org/thailand/girls_in_ict_day/girls-in-ict-day-2023/
先立って、4月27日にバンコクでオープニングセレモニーがハイブリッドで開催され、昨年に引き続き、本年もパネルに登壇致しました。

<https://girlsiniict-asiapacific.org/thailand/opening-ceremony-of-girls-in-ict-day-thailand-2023/>

【CSW68でのパラレルイベント等の実施予定、抱負など】

来年のCSW68でもイベントの主催を望んでおります。ニューヨークは他の仕事などでこれまで出張経験もあり、またNGO CSW/NYの方々とも交流がありますので、今後のCSWでは、ニューヨークにも可能なら行きたいと望んでおります。そのための渡航予算のアイデアなどを募集しています。ご知見のある方、どうぞご助言頂けますと誠に有難く感謝申し上げます。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

3月16日 明治大学情報コミュニケーション学部
堀口ゼミ

NGO CSW67 Forum

Youth Workshop: Gender and Sex Education with Mobile and Technology

Language: English

1. Greeting
2. Regarding Health Classes in Middle and High Schools
(by 1st year students)
3. Hidden Curriculum
(by 1st year students)
4. Expressing CEDAW Through Dance Performance –CEDAW Dance-
(by 2nd year students)
5. Let's Think About "Menstruation"
(by 3rd year students)
6. Japan's Gender Wage Gap
(by 3rd year students)
7. Sexual Exploitation of Children by Grooming
(by 4th year students)
8. Thinking from a Gender Perspective Creating a Love
Simulation Game
(by 4th year students)
9. Discussion: Problems of Digital Sexual Crime from
"Nth Room case"
(by 2nd, 3rd and 4th year students)
10. Announcement: Survey on Date Rape Drugs
11. Closing



Organized by:
Meiji University School of Information and
Communication Horiguchi Seminar in Tokyo of Japan

Check us out
HP: <https://horiguchi-zemi-meijiuniv.jimdofree.com/>
Instagram: @meiji_horiguchi
E-mail: etsuhori@meiji.ac.jp



Thu. 16
MAR 2023
1:00~3:00 EDT
14:00~16:00 JST
Zoom Meeting
ID: 949 4463 3127
Password: 581974

NGO CSW67 Forum

ユースワークショップ: モバイルと テクノロジーによる ジェンダーと性教育

使用言語: 英語

1. 挨拶
2. 中高の保健の授業に関して
(1年生)
3. ジェンダーから見る隠れたカリキュラム
(1年生)
4. 女性差別撤廃条約 (CEDAW) をダンスで表現する
(2年生)
5. 考えよう、『生理』のこと
(3年生)
6. 日本の男女の賃金格差
(3年生)
7. グルーミングによる子どもへの性的搾取
(4年生)
8. ジェンダー視点から考えた恋愛シミュレーションゲーム作成
(4年生)
9. 「n番部屋事件」から考えるデジタル性犯罪の問題点
(2,3,4年生)
10. レイプドラッグ・アンケートについてのお知らせ
11. 終わりに

2023年3月16日(木)
日本時間 14:00~16:00
NY時間 1:00~3:00
Zoom Meeting
ID: 949 4463 3127
Password: 581974

主催: 明治大学情報コミュニケーション学部
堀口ゼミ



HP: <https://horiguchi-zemi-meijiuniv.jimdofree.com/>
Instagram: @meiji_horiguchi
E-mail: etsuhori@meiji.ac.jp



実施報告

- 参加者の人数 約 20 名

- イベント実施の感想

発表中に、チャット欄に感想やコメントなどを書き込んでくださる参加者の方々がいらっしやり、私たちもその場で応答することができて、活発なコミュニケーションをとることができました。また、今回アニメーションやゲームを用いた発表についての好意的なリアクションをいただいたので、今後も身近なカルチャーを手掛かりとした発表の作成を心がけたいと思いました。

- CSW68でのパラレルイベント等の実施予定、抱負など

明治大学堀口ゼミでは、CSW68でのパラレルイベントの参加を予定しております。現在、私たちは「レイプドラッグ・アンケート」と題して、レイプドラッグの被害についてのアンケート調査を実施しており、パラレルイベントでその結果報告をできればと考えております。

※アンケートはこちらから回答いただけます。ご協力をお願いいたします。→



CSW67開催期間全日程で実施 国立女性教育会館

実施報告：（独）国立女性教育会館

NGO CSW 67 のオンラインプラットフォームで
展示ブースを開催しました。

実施報告は、国立女性教育会館の[ホームページ](#)
をご覧ください。



CSW

第67回 国連女性の地位委員会報告

開催期間：2023年3月6日（月）～17日（金）

第67回 国連女性の地位委員会（CSW）が2023年3月6日～17日の日程で開催されました。

第67回CSWの概要

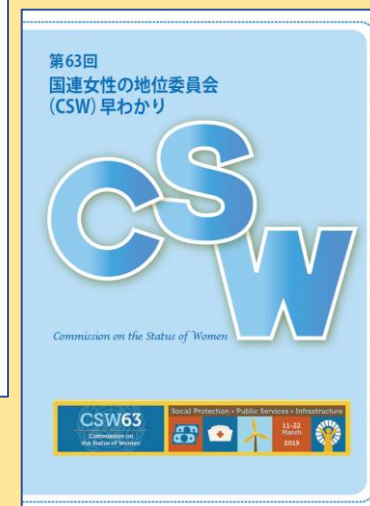
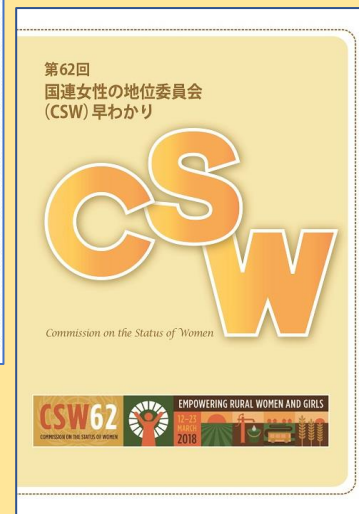
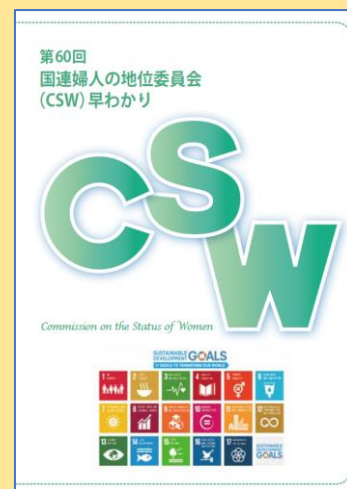
第67回CSWは国連本部（ニューヨーク）にてオンライン参加を含む対面形式で開催されました。本会議には国連加盟国等の国家元首や閣僚級の政府関係者をはじめとする181の代表団が集まりました。優先テーマ「ジェンダー平等と全ての女性と女児のエンパワーメントの達成のためのイノベーション、技術変革、デジタル時代の教育」とレビューテーマ「農山漁村の女性と女児のジェンダー平等とエンパワーメント達成のための課題と機会（第62回CSW合意結論）」を中心に、閣僚級円卓会合、インタラクティブ・ダイアログ、対話型専門家パネルが行われました。CSWは、これまで情報技術・通信ネットワークへの女性のアクセスの課題等について取り上げてきました。今期の優先テーマでは、デジタル格差、デジタル技術の透明性、デジタル技術開発における多様性の包摂、デジタル分野における倫理とジェンダーに基づくハラスメントや暴力にも焦点が当てられました。また、今期は、ユース（若い世代）との対話型パネルが本会議に組み込まれた点も注目を集めました。



国連本部で行われた開会式



マトウ・ジョイニ議長（南アフリカ）



「第67回国連女性の地位委員会（CSW）早わかり」を刊行します。
近日中に国立女性教育会館の[ホームページ](#)に掲載しますのでぜひご活用ください。



NGOCSW/NYバーチャルフォーラム上のNWECE展示ブース (Exhibit Booth)

- ・展示ブースでは、日本国内の男女共同参画の取組について、会館の「研修事業」「調査研究事業」「国際研修」「女性教育情報センター」の情報を掲載
- ・3月7日、9日、16日に展示ブース上で実施したNWECEバーチャル・オープン・ハウスでは、昨年度の国際研修参加者や日本の取組に関心がある方々が世界各国から参加し、会館の研修事業、図書館事業等について意見交換するとともに、啓発活動やジェンダーに基づく暴力の被害者支援を拡げるためにもネットワークづくりが重要であることを再確認
- ・3月14日には、会館が毎年実施している男女共同参画推進フォーラム(NWECEフォーラム)出展団体や大学生、団体に協力いただき、国内外で共通する身近な課題を取り上げたオンライン・セミナー「ユースと語るジェンダー平等」を実施
3人のパネリストが、日常生活の中にあるジェンダー問題「性暴力（痴漢）」「校則（男女別の制服や髪型規程）」「性教育とジェンダー（生理に対する不十分な理解を含む）」に気づき、知人・友人をはじめとした社会への働きかけに工夫して取り組んだ経験を報告

CSW早わかり

近日中に「第67回国連女性の地位委員会（CSW）早わかり」を刊行します。NWECEホームページからダウンロードのうえ、ご活用ください。

令和5年度NWECEフォーラム（11月中旬から12月中旬にオンライン開催）

NWECEフォーラムは、男女共同参画、女性活躍、ダイバーシティ等の推進に取り組んでいる団体等が、日頃の研究や教育、学習、実践活動の成果をもとにワークショップやパネル展示を行う場です。是非CSWの成果やそれに基づいた活動についてフォーラムを活用して発信ください。

- ・出展者募集要項は6月にNWECEホームページにて公開予定
- ・応募期間は7月から8月初旬予定

*詳しくは、NWECEホームページをご確認ください。

